

科目名	感情・人格心理学	科目分類	■専門科目群 □総合科目群		
			法律学科	□必修 ■選択	
			学科	□必修 □選択	
英文表記	Psychology of Emotion and Personality	開講年次	□1年 ■2年 □3年 □4年		
		開講期間	□前期 ■後期 □通年 □集中		
ふりがな	せと ひろし	実務家教員担当科目	○	修得単位	2単位
担当者名	瀬戸 泰	実施方法	■対面のみ □遠隔のみ □対面・遠隔併用		
授業のテーマ	「人間は感情の動物である」といわれるように、私たちは日々、喜怒哀楽といった「感情」の影響を受けながら生活を送っています。また、授業のもう一つの大きなテーマである「人格」（パーソナリティ）も心や行動に大きく関係し、自己理解や他者理解の重要なポイントになるといえます。本授業では、そのように私たちにとって身近な感情や人格を取り上げ、理解を深めることをテーマにします。				
到達目標	1. 感情および人格心理学に関する代表的な理論や考え方を理解し、説明することができる。 2. 学習した内容を、自らの心や日常生活に当てはめて確認・考察できる。				
授業概要	座学を中心に、感情・人格心理学に関する基本的な内容を取り扱います。また、実際に様々な感情や性格に関する質問紙等に回答していくことを通じて、皆さん自身の感情や性格等についても理解を深めていけるよう授業を進めていきたいと思います。				
授業計画					
第1回	イントロダクション	(授業の概要、感情とは、人格とは、感情と人格の関連)			
第2回	パーソナリティの分類	(類型論と特性論)			
第3回	ビッグ・ファイブ理論	(特性論の決定打、5つのパーソナリティ、ビッグ・ファイブと心理特性)			
第4回	パーソナリティの測定	(質問紙法・投影法・作業検査法、代表的な質問紙に回答してみよう)			
第5回	投影法の実践	(バウムテスト&カラージュ療法を体験する)			
第6回	パーソナリティの発達①	(気質、一貫性論争、遺伝か環境か、アイデンティティ)			
第7回	パーソナリティの発達②	(ホスピタリズム、愛着理論、愛着の傷と防衛機制)			
第8回	ダーク・トライアド	(サイコパシー、ナルシズム、マキャベリズム)			
第9回	パーソナリティと健康	(パーソナリティ障害、タイプA・C、楽観性)			
第10回	感情の種類と生起	(感情の機能、基本的感情説と次元説、感情はどのようにして生じるのか)			
第11回	様々な年代と感情の発達	(感情発達理論、青年・中高年・高齢者と感情、ネガティブ感情の意義)			
第12回	自己評価と感情	(自尊感情、セルフコンパッション)			
第13回	幸福感	(2種類の幸せ、ポジティブ心理学、何が幸福感を高めるのか)			
第14回	感情の不調・病気	(気分障害、不安障害、診断基準、モノアミン仮説)			
第15回	認知行動療法	(行動療法、認知療法、認知の歪みとスキーマ、マインドフルネス)			
第16回	定期試験				
授業時間外の学習	学習内容の定着を図るため、毎回、復習を行うようにしてください。 授業で学んだことを、日々の経験や日常生活で意識的に当てはめ、考察・活用できるよう努めて下さい。				
履修条件 受講のルール	履修のための条件はありません。				
テキスト	毎回、講義用レジュメを配布します。				
参考文献・資料	島 義弘 (編) 『パーソナリティと感情の心理学』 (サイエンス社、2017年)				
成績評価の方法	毎回のコメントシート60%、試験40% ※出席回数が規定に満たなかった場合及び授業料その他納入金等の全額を納めていない場合は試験を受けることができません。				

オフィスアワー	月曜日もしくは火曜日の10:30～12:00 ※上記以外の時間帯でも、研究室に在室中であればお声がけください。 E-mail : seto@nau.ac.jp
成績評価基準	秀(100～90点)、優(89～80点)、良(79～70点)、可(69～60点)、不可(59点以下)
実務経験及び 実務を活かした 授業内容	心理職（公認心理師、臨床心理士）として相談実務に携わってきました。様々な悩み・相談事の背景には、感情や人格の問題が絡んでいることが多く、具体的な事例等も紹介していきたいと思います。
学生への メッセージ	感情・人格心理学は、心理学の中でも主要な分野であり、かつ、ストレス社会といわれる現代においてその意義や関心は益々高まっていると考えられます。この講義を通じて人間理解を深め、自身の心のケアや他者への配慮等に活かしていただけたらと思います。